

報告日 令和8年1月30日
報告回次 1回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	北九州市教育委員会（北九州市立楓田中学校）			代表者名	上嶋 弘幸	
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	北九州市立楓田中学校		連絡先電話番号	093-651-1921
担当者役職	教諭（メンタリング教員）	担当者氏名	池園あゆ美		連絡先E-mail	
住所	805-0023 福岡県北九州市八幡東区宮の町一丁目5番1号					

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	情報化推進
概要	校内の業務改善に向けたDXを目指しており、そのための職員の意識改革、改善点の洗い出しを行うにあたり、具体的なご助言をいただきたい。また、ICTを活用した授業改善を、学校全体で行うため、次期学習指導要領を意識した職員全体へのご助言、またICT担当職員へのご助言をいただきたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 教育情報化／情報教育 働き方		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年1月28日	支援・助言&講演（実地）	10時50分	17時00分	
				活動時間（分）	370
2-2. 派遣場所	会場名	北九州市立楓田中学校		最寄駅	枝光駅
	所在地	福岡県北九州市八幡東区宮の町一丁目5番1号		最寄駅からの交通手段	自家用車にて送迎いたします。

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	平井 聰一郎
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に）	午前中に4クラスの授業を参観していただいたが、教科を越えてどのような使い方や、授業デザインへの意識改革が必要なのか、事細かにみていただくことができた。また、会場校の授業の様子に合わせて、ハードルを下げた全体研修をおこなっていただいた。子どもたちの生きる未来はどうなるのか、次期学習指導要領に含まれるICT活用の意味は何なのか、今教員に求められていることは何なのか、ICTを活用することと授業デザインの転換の意味などについて、非常にわかりやすく、かつ参加者同士のコミュニケーションの機会を設けながら研修をしていただけたところが、大変勉強になった。
アドバイザーへの要望事項	特にありませんが、機会があればまたお呼びしたいですし、その際はもう少し長い時間×回数を設定させていただければと思います。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	45人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	45	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	教育における情報化推進、また教育公務員の働き方改革に向けたDXが呼ばれる中、行政としても一括した取り組みができず、個人任せになっているため、全体として足踏みをしている。その原因としては、教育行政の紙文化が根強く、ペーパーレスが進まないこと、ICT機器が導入されているが、クラウド上での業務や授業に必要性を感じていない職員が多いこと、生徒用端末と職員用端末のOSが異なり、PC操作を苦手とする職員にとってICT活用へのハードルが高いことが挙げられる。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	職員の意識改革、次期学習指導要領におけるICT活用の方針を踏まえた授業改善のアドバイス、DXを進めるにあたって取り掛かる順序などのアドバイス、この3点を中心に、実態を踏まえた研修を行っていただく。それにより、できない理由ややらない選択肢を列挙せず、生徒たちの未来のため、生徒が主体となる授業実践により学ぶ楽しさを実感させるため、また教員自身の就労満足度をあげていくため、組織として個人として変わる意識をもつことを目指していきたい。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	①授業参観による、授業実態の把握（2時間の中で4クラスの授業を参観していただきました。） ②全体研修におけるICT活用に向けた考え方、具体的な活用等の講話 長寿化、IT化による社会の変化、職種の変化、求められる能力の変化などを踏まえ、なぜ学校が変わることを求められているのかといった、意識にかかわる部分の講話。次期学習指導要領を踏まえた、実際に起こる具体的な変化についての講話。AIの根本的な仕組みや、AIを活用した校務軽減など、今更聞けない基本的な道具の講話などを行っていただきました。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	・なぜDXなのか、という根本的な理解につながった。 ・学校が担う責任の大きさも理解でき、教科担任として授業デザインを考えるきっかけになった。 ・タブレットを活用したコミュニケーションを体験することで、使ってみたいという意欲につながった。具体的な活用法をもっと教えてほしいという声も上がった。 ・次期学習指導要領がどうなっていくのか、という教員として知り得ておくべき情報を得ることができた。 ・タブレットを活用した体験することで、校務への転用の意欲につながった。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑦その他 今回は、組織全体として足踏みをしている状況を、少しでも前向きに動かす起爆剤になればと思い、教員の意識改革につなげられる材料を中心にお話をしていた。春休みにおける研修内容の希望や、来年度の校務の改善点などの話題が沸き起こったことが成果だと考える。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	DXを進めるにあたって取り掛かる順序など、具体的な方策の制定まで話を進めることができなかつた。1日訪問、2時間の講話という限られた時間だったため、そこまでお話を進めることが困難だった。また、授業参観を行っていた中で、具体的な改善へのアドバイスよりも、なぜ今改善が必要なのかという意識改革を重点に置いたほうがよいとのご判断をいただいたため。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 多くの話ををしていただき、受講者の立場により刺激を受けた部分は異なっていたが、初めて聞いた話に「やってみたい」「今が変わる時期」といった二の足を踏んでいた状況から、前向きな変化をもらそうとする振り返りが多く見られた。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい ④予算以外で、今後取組む事項がある 今回のアドバイザー派遣による効果を、次年度学校経営に反映するため、2か月以内に具体的な活用研修を2回実施する予定にしている。また、より目に見える形での変化をもたらすため、次年度は継続的にアドバイスをいただけるよう、自治体と相談の上派遣の活用を検討していきたい。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	令和8年3月（令和7年度末）に、次年度DXを進める業務の決定、担当者による準備にとりかかる。令和8年度末には、授業デザインの変化を生徒自身が感じること、また職員の業務改善への満足度が上がるよう取り組んでいく。

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 ○掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお「その他」を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

